

【 曾爾村簡易水道事業経営戦略の概要 】

1. 経営戦略策定の目的

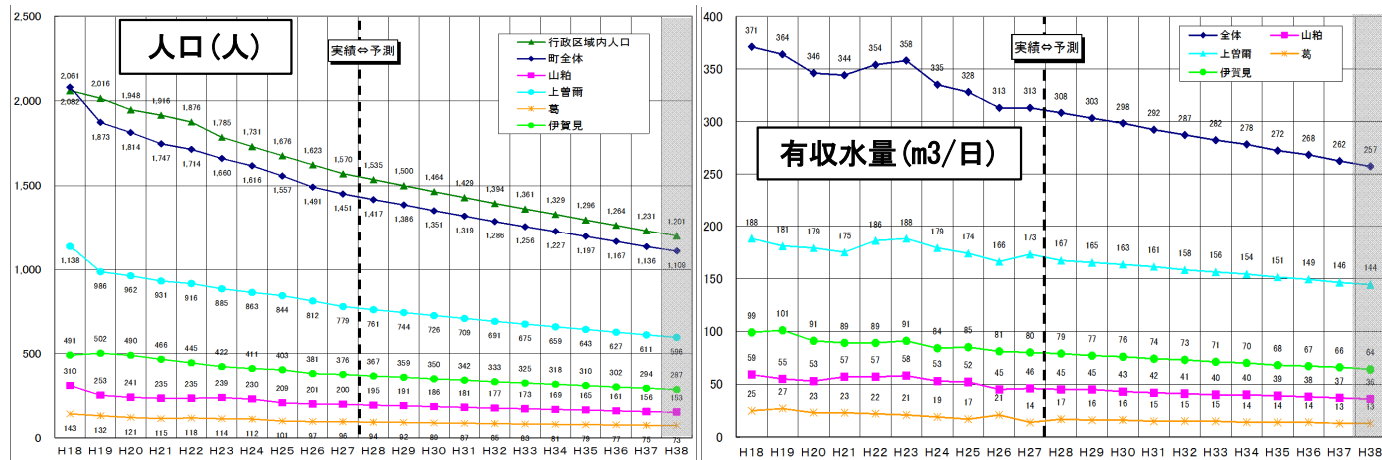
水道事業では、保有する資産の老朽化に伴う大量更新期の到来や人口減少等に伴う料金収入の減少等により経営環境は厳しさを増しており、不断の経営健全化に対する取組が求められている。

水道事業は住民の生活に欠くことのできない重要なサービスを提供する役割を果たしており、将来にわたってサービスの提供を安定的に継続できることを目的として、総務省は各事業体ごとに「経営戦略」の策定を要請している。

曾爾村簡易水道事業においても同様に、人口・水需要の減少に伴う給水収益の減少が予測されているが、4つあった簡易水道の統合事業を実施して施設の統廃合、合理化を図ったところであるので、今後は老朽化の進む個々の管路や施設を計画的に更新していけばよい。それに必要な財源を確保し、持続可能な水道事業とするために経営戦略を策定するものである。

2. 水需要の実績と予測

過去10年と今後10年における人口及び有収水量の実績と予測は、下図のとおり一定の減少傾向を示す。



3. 建設改良費

建設改良費は、平成28年度までは統合事業に多くの費用を要して合理化を図ったところであるので、今後は事業費の低減に配慮しながら、計画的に老朽管路更新や浄水場の能力増強を進めていく。

	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
	4~7	7~10	10~1	4~7	7~10	10~1	4~7	7~10	10~1	4~7
施設	補助要望他									
	調査設計			認可変更	詳細設計					
工事	上曾爾浄水場増設						8,000			
	補助要望他	補助要望	補助要望	補助申請	補助申請	補助申請	補助申請	補助申請	補助申請	補助申請
管路	調査設計	詳細設計(201~20)		詳細設計(202~24)		詳細設計(203~28)		詳細設計(204~32)		詳細設計(205~38)
	上曾爾地区			2,000	2,000	2,000	2,000			
工事	伊賀見地区						2,000	2,000	2,000	2,000
	舗装工事	2,200	2,200							
合計(単位:万円)	3,200	3,700	2,000	2,740	10,800	2,500	2,000	2,500	2,000	2,000

4. 財政収支計画

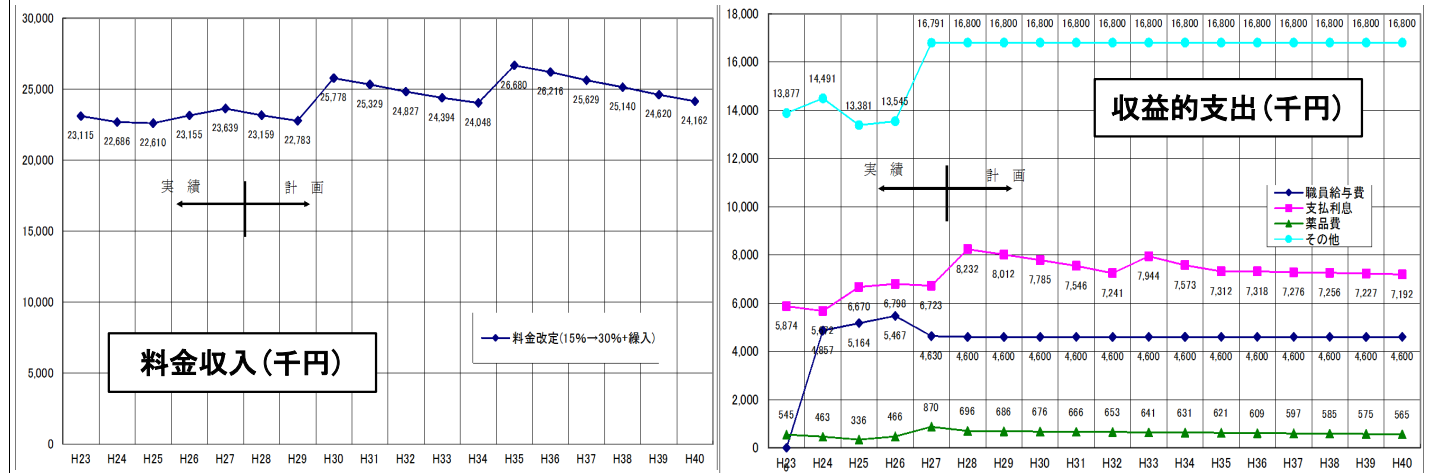
将来の料金収入等の収入予測と、施設・管路の更新等に要する建設改良費等を合理的に見込んでシミュレーションした結果、主要な項目を以下に示す。

1) 料金収入

現行料金であれば水需要の減少に伴い料金収入も減少するので、収支バランスを保つため、激変緩和を考定して段階的に15%ずつ値上げするケースを予測した。その結果、平成40年度において2,400万円の料金収入と試算される。

2) 収益的支出

収益的支出は、職員給与費、支払利息、薬品費、需用費等その他の合算である。



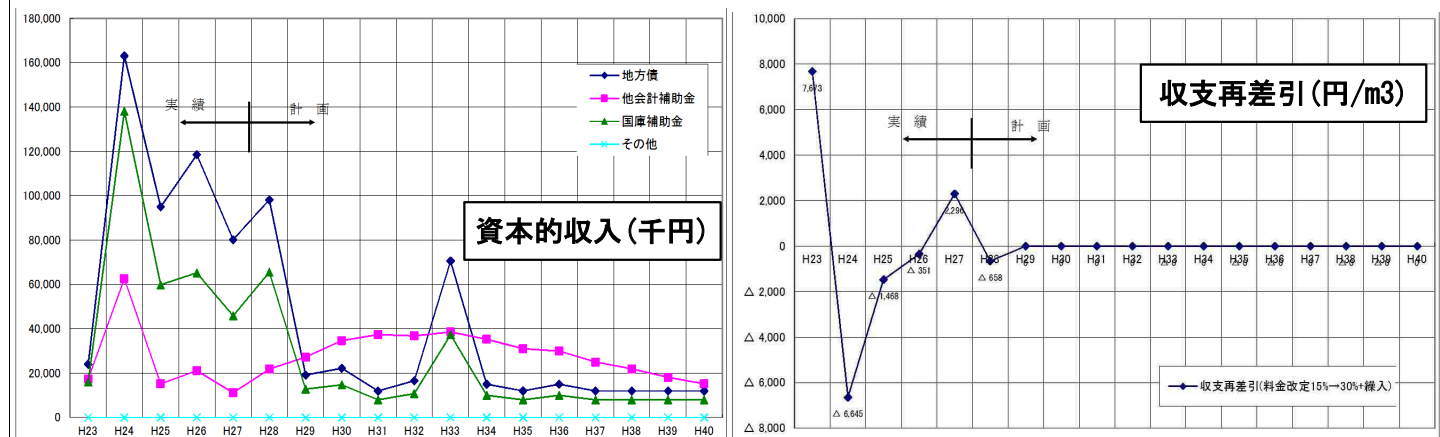
3) 資本的収入

資本的収入は、国庫補助金、地方債、他会計補助金等であり、国庫補助金と地方債は管路更新費に対して発生する。また、他会計補助金は地方債償還金元金に対する交付税措置等である。

4) 収支再差引

各年度における収益的収支差引と資本的収支差引を合算したものを収支再差引とする。

段階的に30%まで料金値上げし、一定額の繰り入れを行えば概ね収支バランスが保たれる。



5. 事後検証

各年度の給水実績や財政状況の決算値が出れば、当初の計画値との比較を行い、差異について分析評価し、適切に計画の修正・更新をPDCAサイクルを回して取り組みの精度向上を図っていく。